

## ひまわり 4 組(病弱・身体虚弱学級) 自立活動学習指導案

日 時 平成29年9月28日(木) 5校時

児 童 1年 女2名

指導者 松川 ナオ

### 1 単元名 かたかなを あつめよう

【学年関連単元名】かたかなを みつけよう (光村図書 上P112～113)

### 2 単元について

#### (1) 児童について

本学級は病弱・身体虚弱の特別支援学級である。在籍する2名の児童は、二人とも病状のため成長過程で手術や入院生活を経験し、日常生活でも運動・生活制限があった。そのため、通常の児童より集団生活の経験が少なく、様々な場面での支援を必要としている。入学式以降は、二人とも毎日の学習を楽しみにしながら登校している。午前は主に交流学級で過ごし、算数の授業と午後の5校時は学級での教科の個別指導や自立活動等の時間としているが、各自の病状やその日の体調に配慮しながら学習を進めている。

Aは、運動制限が強く、児童との衝突や強い磁気に注意が必要である。家庭では常に酸素吸入をしながら生活しており、学校でも日常的に吸入しながら学習を進めている。授業では短時間しか集中できないものの、常に穏やかでマイペースながら最後まで頑張ろうとする。国語では、平仮名の読み書きと共に文章の拾い読みができるようになった。

Bは、病状のため発音が不明瞭で、うまく発音できない言葉は自分から話そうとしない。兄がいるため、生活経験はAより多く、自己主張がはっきりしている。5月に言語検査を受け、6月から月1回の言葉の教育相談に通えることになり、学級では自立活動として担任と舌の動きや発音練習に取り組んでいる。学習への意欲は高く、国語の音読は、学習した教材文をすらすら読むことができるようになった。

#### (2) 教材について

本教材は、特別支援学校小学部・中学部学習指導要領第7章自立活動における内容6「コミュニケーション」の「(3)言語の形成と活用に関すること」「(5)状況に応じたコミュニケーションに関すること」をふまえている。また、国語科学習指導要領の内容2「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」のウ「文字に関する事項」(ア)「平仮名及び片仮名を読み、書くこと。また、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うこと。」をもとに、自立活動の学習内容を展開していく。

本教材は、身の回りの片仮名の言葉集めを通して、片仮名文字への関心を高めるとともに、インタビューをしながら情報を収集したり、その情報をもとに給食メニューを自分で考え発表したりすることで、他者とのコミュニケーションの経験を積むことができる学習である。この学習では、片仮名の読み書きをするだけでなく、体験的に片仮名の言葉に触れる経験を多く取り入れることにより、文章を書くときの基礎的な力を養いながら、友達との関わりを豊かにするための基礎も育てていきたいと考える。

### (3) 指導にあたって

児童は、1学期に自立活動「おもちゃとおもちゃ」の学習で、国語の拗音の学習をする中で先生方へのインタビュー活動を取り入れた学習を経験している。また、生活科では、先生方に自分の考えた質問をし、ワークシートに書いたり、友達と発表し合ったりする活動も経験している。給食時間には、ひまわり学級在籍の1年生3名で当番活動をし、給食メニューを読み上げる活動をしなが

ら、片仮名に触れることも多い。  
本単元の第1時では、始めに教材文の唱え歌を読み、片仮名の言葉を見付けて、平仮名と片仮名の2種類の言葉があることに気付かせていく。その違いについても触れ、ワークシートに書く活動を行いながら正しい片仮名の表記を学ばせる。

第2時では、身の回りの片仮名の言葉を集める活動をしなが

ら、興味関心を高めていくようにする。そして、集めた言葉を読んだり書いたりしながら、片仮名の字形や濁音・半濁音・長音・促音・拗音の正しい表記の仕方について理解を深めさせる。  
第3時では、今までの生活経験から、給食のお勧め片仮名メニュー作りに取り組みさせていく。その過程で、参観される先生方にインタビューの協力を仰ぎ、コミュニケーションの経験を増やしなが

ら学習への意欲や集中を高めさせる。最後に、自分が考えたメニューとお勧めポイントを文章に書いて発表させ、活動に達成感をもたせるようにする。  
また、Aについては常に観察をし、体調や病状に応じて休息を取る等、その時に必要な支援を行いながら学習を進めていくようにしている。Bについては、言葉に関する自立活動として、毎日短時間ではあるが発音練習を取り入れ指導をしている。二人とも他者との関わり方に自信がなく不安を感じているため、「コミュニケーションの経験を増やし、他者と会話したり関わったりする能力を養うこと」を二人共通の自立活動の指導項目の一つとして学習を進めていくようにする。

### 3 単元の指導目標

- 片仮名の言葉を集め、見付けた言葉を正しく読んだり、字形に気を付けて書いたりすることができる。(知識・理解)
- 語としてのまとまりを意識して、片仮名を書くことができる。(書く)
- 片仮名の言葉集めを通じながら、様々な人と話そうとしている。(関心・意欲・態度)

### 4 学習計画 3時間

- 第1時 かたかなを みつけてかこう。
- 第2時 いろいろなかたかなを みつけてかこう。
- 第3時 おすすめのかたかなメニューを つくろう。(本時)

### 5 本時の指導

#### (1) 本時の個別目標

児童	児童の実態	本時の個別目標
	・片仮名 ・コミュニケーション	・片仮名 ・コミュニケーション
A	・半数以上の片仮名を読むことと、学習した片仮名を書くことができる。 ・一つ的话题を継続するには支援を必要とするが、自分が思い付いたことを話すことが	・片仮名を正しく読んだり、字形に気を付けて片仮名を書いたりすることができる。 ・インタビュー活動の流れを理解し、自分から話しかけ、インタビューをすることができ

	できる。	る。
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>半数以上の片仮名を読むことと、学習した片仮名を書くことができる。</li> <li>発音に不安を感じることもあるが、教師の支援を受けながらインタビュー活動に取り組むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>片仮名を正しく読んだり、字形に気を付けて片仮名を書いたりすることができる。</li> <li>インタビュー活動の流れを理解し、支援を受けながらインタビューをすることができる。</li> </ul>

(2) 研究内容に関わる手立てについて

<p>【研究内容1】・・・自分の思いをかいいたり、話したりする場を位置付けた単元構想</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>片仮名の言葉を集める活動の中に、自分の好きな片仮名の言葉を読んだり書いたりする学習を位置付ける。</li> <li>インタビュー活動の後、片仮名を用いた言葉や文を書き、発表する場を設ける。【言語活動2】</li> </ul> <p>【研究内容2】・・・意欲をもって関わるのできる活動と支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>言葉集めの学習への意欲を高めるために、楽しみながら他者と関わる活動としてインタビュー活動を取り入れる。【言語活動1】</li> </ul>
---

(3) 展開

段階	学 習 活 動	支援の手立て (○) 評価 (★)
導入 5分	<p>1 前時の想起をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>片仮名の言葉を、口形・発音に気を付けながら声に出して読む。</li> </ul> <p>2 本時の学習内容を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>インタビューをして、給食の片仮名メニュー集めをすること、最後に自分のお勧めメニューを発表することを確かめる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>おすすめのかたかなメニューをつくらう。</p> </div>	<p>○Bへの支援</p> <p>言葉の口形・発音について、ポイントを示す。</p> <p>○校内の先生方にインタビューをした経験について、写真等を参考にしながら思い出させる。</p> <p>○参観される先生方にインタビューをすることを知らせ、学習への意欲を高める。</p>
展 開	<p>3 給食で、片仮名のメニューを集める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ごはん・パン (カレーライス、ココアパン等)</li> <li>にく・さかな (ハンバーグ、エビフライ等)</li> <li>やさい (マカロニサラダ、チャプチェ等)</li> <li>おつゆ (コーンスープ、シチュー等)</li> <li>デザート (ヨーグルト、ゼリー等)</li> <li>ミルク</li> </ul> <p>4 来てくださっている先生方に、食べてみたいメニューをインタビューする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>インタビューの仕方を確かめ、練習する。</li> </ul> <p>【インタビュー活動の流れ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>メニューカードのかごを持って、先生方にインタビューをする。</li> <li>食べてみたいメニューカードを1枚選んでも</li> </ul>	<p>○Aへの支援</p> <p>授業での体調を観察し、休憩を取ったり、必要な声掛けをしたりする。</p> <p>○給食のメニューカードを用い、片仮名の付くメニューだけ、と確認する。</p> <p>○発表した言葉を読み、数個選んでワークシートに書かせる。</p> <p>○インタビューの仕方を黒板で確かめ、話形を練習させる。</p> <p>「こんにちは。食べてみたいメニューを教えてください。」</p> <p>「○○ですね。」</p> <p>「ありがとうございました。」</p> <p style="text-align: right;">【言語活動1】</p> <p>○Aへの支援</p>

37分	<p>らう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選んでいただいたメニューカードを探検バックに入れる。</li> <li>・インタビュー活動を行う。</li> </ul> <p>5 インタビューで集めた片仮名メニューを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メニューの片仮名を正しく読む。</li> </ul> <p>6 自分のお勧めの給食メニューを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートに自分のお勧めの給食メニューを書く。</li> <li>・インタビューして集めた「食べてみたいメニュー」を必ず1つ入れる。</li> </ul> <p>7 自分のメニューのお勧めポイントを考える。</p> <p>8 お勧めの片仮名メニューを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お勧めの片仮名メニュー</li> <li>・お勧めポイント</li> <li>・インタビューの感想</li> </ul>	<p>不安なときは、黒板の話形を確かめながら、インタビュー活動に取り組ませる。</p> <p>○Bへの支援 話形を練習しながら、発音しにくい言葉を確認し、インタビューで自信がないときは担任と一緒に話すようにさせる。</p> <p>★片仮名の言葉集めを通じながら、様々な人と話そうとしていたか。 (関心・意欲・態度)</p> <p>○分からない片仮名や発音しにくい言葉は、担任と一緒に読む。</p> <p>○学習していない片仮名は、メニューカードの裏や片仮名表を見て確認させる。</p> <p>○選んだメニューと一緒に食べたい組み合わせを考えるように声掛けをする。</p> <p>○自分のメニューのお勧めポイントを、ワークシートに記入させる。</p> <p>○発表させながら、インタビューの感想を話せるよう声掛けをしていく。</p> <p>【言語活動2】 ★片仮名を正しく読んだり、字形に気を付けて書いたりすることができたか。 (発表・観察・ワークシート)</p>
終末3分	<p>9 本時の学習を振り返る。</p> <p>10 次の学習の予定を知る。</p>	<p>○振り返りを記号でワークシートに記入させる。</p>

(4) 板書計画

<p>ふりかえり</p>	<p>*おすすめメニュー</p>	<p>*おすすめメニュー</p>	<p>おすすめメニューをつくろう</p> <p>「たべてみたいメニューをおしえてください。」 (えらんでもらう)</p> <p>「○○ですね。」</p> <p>「ありがとうございます。」</p>	<p>インタビューしよう</p> <p>「こんにちは。」</p> <p>「たべてみたいメニューをおしえてください。」 (えらんでもらう)</p> <p>「○○ですね。」</p> <p>「ありがとうございます。」</p>	<p>かたかなを あつめよう</p> <p>きゅうしよくの かたかなメニュー</p> <p>ココアパン ハンバーグ コーンサラダ シチュー ゼリー ミルク</p> <p>おすすめのかたかなメニューをつくろう。</p>
--------------	------------------	------------------	---	---	--